

第 94 回お試しアカウント付き並列プログラミング講習会

「KNL 実践」実施報告

埴 敏博

東京大学情報基盤センター

2018 年 2 月 14 日（水）、東京大学情報基盤センター4 階 413 遠隔会議室にて、第 94 回お試しアカウント付き並列プログラミング講習会「KNL 実践」が開催されました。

本講習会は、東京大学内および学外における当センターのスーパーコンピュータの利用を考えているユーザに加え、社会貢献の一環として、高性能計算や並列処理の技術習得を目的にした企業に所属する研究者、技術者の方が参加可能になっております¹。

受講者は、教授：1 名、准教授：1 名、講師：1 名、教務職員：1 名、大学院学生（博士）：1 名、参加者合計：5 名の方にご参加いただきました。

今回からは1 ヶ月有効となるお試しアカウントが与えられ、Oakforest-PACS スーパーコンピュータシステムの利用方法、OpenMP および MPI (Message Passing Interface) を用いたプログラミングに関する実行方法についての演習が、終日の日程で行われました。

当日のプログラムを、以下に載せます。

- 2 月 14 日（水）
 - 9：30 - 10：00 受付
 - 10：00 - 12：00 Oakforest-PACS ログイン、Oakforest-PACS システム紹介、KNL 概要
 - 13：30 - 15：00 KNL における最適化（講義＋演習）
 - 15：15 - 18：00 Oakforest-PACS でのハイブリッド並列化と最適化（講義＋演習）

5 名の参加者について、講習会に関するアンケートをご提出いただきました。主要な項目の集計結果は、並列プログラミングの経験は全員が「これまで経験あり」で、5 年未満が 2 名、5 年以上 10 年未満が 3 名でした。配布資料の難易度は「ふつう」が 4 名と「やや難しい」が 1 名、満足度は「ふつう」が 2 名、「やや満足」が 3 名で、平均は 3.6 でした。

また、以下の感想をいただきました。

- できれば講義と講義の間に演習をしてほしいです。すぐ忘れてしまいます。

¹ 企業に所属する研究者、技術者の方は、受講前にアカウント申込書（直属の上司等の署名捺印があるもの）の提出が必要です。詳細は当事業のホームページをご覧ください。

今回は「KNL 実践」講習会の今年度 4 回目でしたが、今回はすでに並列プログラミングを経験されている方ばかりであり、高度な内容を学びたいという希望に沿った内容で実施できたと考えられます。

同様の講習会があれば、「また受けたい」という回答が 3 名で、その他の講習会にも期待されていることが伺えます。

今後の KNL 向けの講習会については、午後のみスケジュールで実施していく予定です。

以上